

令和5年度第1回幕別町部活動地域移行検討委員会 開催結果

1 開催日時

令和5年11月21日（火）18時57分から20時11分まで

2 開催場所

札内コミュニティプラザ集会室1

3 出席者

【委員】

橋本委員、久保委員、小田委員、稗田委員、高道委員、小松委員、川瀬委員、坂口委員、沖田委員、西山委員（全10名）

【教育委員会】

菅野教育長、川瀬教育部長、西田学校教育課長、石田生涯学習課長、酒井学校教育係長、勝又社会教育係長、吉田社会体育係長、喜多学校教育推進員、今城主査（傍聴）、小林

4 傍聴者

十勝毎日新聞社 松崎記者

5 内 容

本委員会の開催に先立ち、委員に対して委嘱状を交付した。

その後、教育長挨拶、自己紹介、委員長及び副委員長の選出を行った。

委員長及び副委員長の選出は小田委員の指名推薦により、次のとおり決定した。

- 委員長：幕別町スポーツ協会 高道委員
- 副委員長：まくべつ混声合唱団 沖田委員

6 議 題

- (1) 「幕別町部活動地域移行検討委員会」について（資料に基づき説明）

【質疑等なし】

- (2) 令和5年度町内中学校部活動加入状況（資料に基づき説明）

【質疑】○：委員、●：教育委員会

- 忠類中学校のバレー部は豊頃中学校との合同チームとなっているが、その他の部活動で町外と合同チームを編成しているものはあるか。
- アイスホッケー部は十勝管内の複数の中学校が合同チームを編成している。過去に野球部は十勝管内の東部方面で合同チームを編成していたこともある。また、スピードスケートは拠点十勝オーバルで活動していて、複数の中学校が合同で練習している状況である。

(3) その他

北海道の「部活動の在り方検討支援アドバイザー派遣支援事業」のアドバイザーとして活躍している小田委員から部活動地域移行について、スライドを用いて、説明をいただいた。

【質疑・感想等】○：委員、◆：小田委員

- 感想にはなるが、体育教員を努め、18年間部活動の指導にも携わっていたが、今後子どもたちがどのように楽しんでいけるか、気持ちを高揚しながら、説明を聞いていた反面、冷静に考えると令和7年度までに地域移行することは難しい課題であると改めて感じた。幕別町でも失敗をありきでは考えないように、協力しながら進めていかなければと、不安と覚悟も考えながら、スライドを見させていただいた。
- 私はバドミントンの指導をしており、現在町内の少年団で指導している。子どもたちは運動をしたいと望んでいる子が多いが、説明の中であったとおり家庭の金銭的な問題でできない子がいることや、親の送迎ができずに運動をできない子も多くいると聞く。送迎に対して、子どもの達の活動をしやすいするための良い対策は何かあるか。
- ◆ 送迎に対する問題は今後道内どこでも大きな課題となる。部活動のために自治体が交通費の補助を行うことは現実的に難しいと思うので、まちづくりの施策として、子どもたちだけではなく、高齢者なども自分の好きな場所に行きたい時に行けるような交通手段を自治体として考えるべきと、北海道では推奨している。本町であれば、コミュニティバスの活用なども1つの議論にはなるが、非常に難しい課題である。

7 次回の会議について

来年1月頃に町民会館で開催を予定。時期が決定したら、改めてお知らせする。

内容は北海道の「部活動の在り方検討支援アドバイザー派遣支援事業」のアドバイザーを派遣し、教職員や保護者の皆様も対象にした説明等を予定している。